

SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

### ▶ 研修旅行での課題研究班別研修

10月3日(火)～7日(土)、第2学年は4泊5日の日程で研究旅行に行っていました。研修先は、広島～関西です。今回の研究旅行では、コロナ禍により制限されていた班別研修が数年ぶりに復活いたしました。旅行2日目と3日目の2日間にわたり、班別での訪問研修を実施しました。

この班別訪問研修は、「SS 探究」の時間に進めてきた課題研究を深化させるべく、大学や企業等の専門家の方に依頼し、現地で研修させていただく企画です。5月に実施したオンライン研修での依頼の方法を踏まえ、夏休み前から研修先探し、訪問研修の準備を進めてきました。研修先の選定、交渉など困難な課題も多くありましたが、班ごとに工夫を凝らして研修を実施することができました。中には、大学で自分たちの研究内容を発表しディスカッションを行った班や、街頭でのアンケート調査を実施した班もありました。専門家の方からのアドバイスを受けて、仮説や研究方法を変更しようと考えている班もあるようです。

↓ 丹波篠山・地域おこし協力隊の活動体験



↓ 京都大学バイオマスプロダクトツリー産学共同研究部門



↓ 宿泊した大津プリンスホテルで料理長さんと



↓ 京都府立大学・視環境計画学研究室



この研修旅行を経て、いよいよ課題研究はまとめの時期に入ります。今後は、研究論文の作成、SSH生徒研究発表会でのポスター発表・口頭発表など、アウトプット活動を行いながら、自分たちの研究をさらに発展させつつ、研究のためのスキルを向上させていきましょう。

以下、研修について生徒たちの感想（一部抜粋）です。

- ・ 専門としている先生の話聞く事は、新たな考え方の発見につながって、とても有意義だった。
- ・ 地域活性化の活動している方のお話をふまえ、福島市に当てはめられるものを考えていきたい。
- ・ どの研修先でも親切に接してくださり、素人質問にも丁寧に対応してくださって、私たちが求めていた以上の研修になりました。



## ▶SS 探究 第一学年フィールドワーク

10月3日(火)

第一学年のフィールドワークが実施されました。県内7コースに別れ、14箇所の研究機関、大学、企業などで研修を行いました。研修場所を訪れる前に班ごとに事前学習を行い、当日は積極的に質問するなど、各コースとも充実した研修でした。研修後、研修結果を班ごとにスライドにまとめ、クラス内で、全7コースの発表を18日(水)に行いました。お互いに、プレゼンの評価をし、優れた発表を行った班は2月末に行われる研究発表会で発表する予定です。

↓相馬 A コース 福島県水産資源研究所



↓いわきコース いわき市アンモナイトセンター



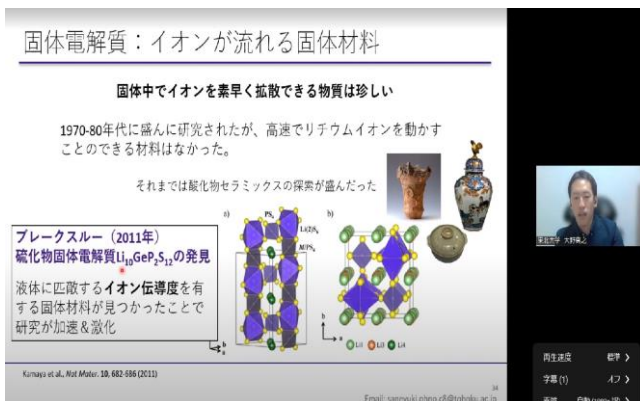
↓18日クラス内発表の様子



## ▶ウメタン S オンライン特別講義

10月4日(水)

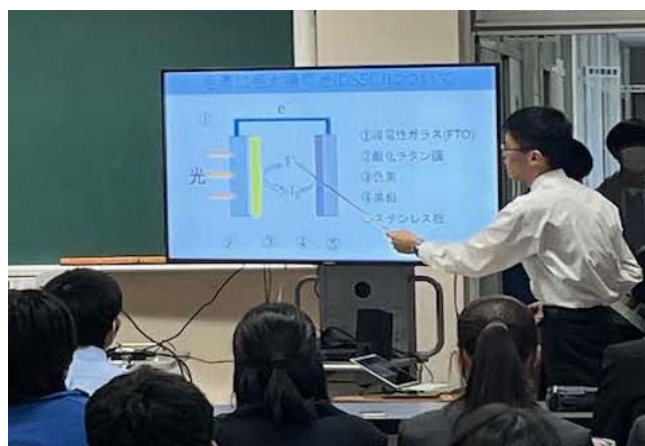
東北大学多元物質科学研究所准教授、大野真之様による「全固体電池の最前線」について講義を受けました。世界最先端の研究開発の現状と課題についてわかりやすく解説していただき、さらに大野先生が海外の大学院へ進学した動機やその後の研究生生活の広がりについて、お話をいただきました。講義後の質疑応答も活発に行われ大変有意義に時間となりました。



## ▶県北・相双支部生徒理科研究発表会

10月15日(日)

福島西高等学校会場において本校SS部が13本の発表をおこないました。他校の発表を聞いて参加した生徒たちは、良い刺激となったようです。



## ▶今後の主なSSH 行事予定

11/2~6 JSSF: 於立命館高校

11/12 科学の甲子園 福島県予選

11/18~19

高文連自然科学専門部生徒理科研究発表会県大会

11/22 高大連携講座文系

11/29 高大連携講座理系